

## 社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 沿革

1948年(昭和23年) 8月	<p>「宮城県身体障害者福祉団体連合会」設立</p> <p>塩釜傷痍者更生組合・友愛十字会・身体障害者曙会・身体障害者福祉会・力行会・その他</p>
1950年(昭和25年) 11月	<p>「(財)宮城県社会福祉協議会」設立</p> <p>11の専門部会の中の身体障害者福祉部会誕生。</p>
1951年(昭和26年)	<p>「宮城県身体障害者福祉協議会」設立</p> <p>身体障害者福祉部会独立。</p>
1952年(昭和27年)2月5日	<p>「宮城県身体障害者福祉協会」設立</p> <p>「宮城県身体障害者福祉団体連合会」「宮城県身体障害者福祉協議会」の2団体を統合し、任意団体として発足。</p>
1952年(昭和27年) 7月	<p>「第1回義肢装着訓練(蔵王登山)」開始</p> <p>任意団体として最初の事業(県との共催)</p> <p>昭和46年まで20回開催。昭和47年から「野外合宿訓練」と名称、内容を変えて実施。</p>
1954年(昭和29年) 7月	<p>「第1回地域指導者研修会」開始</p> <p>地域活動の中心的存在となるリーダーを養成。昭和34年からは、正式に県からの委託事業。</p>
1956年(昭和31年)5月31日	<p>財団法人として認可を受ける</p>
1957年(昭和32年) 4月	<p>「身体障害者更生授産所」開設</p> <p>定員20名(同年12月に定員30名に改正)</p> <p>人造真珠の生産と編み物作業。</p>
1958年(昭和33年)6月30日	<p>社会福祉法人として認可を受ける</p>
1960年(昭和35年) 7月	<p>「身障みやぎ」創刊</p> <p>身体障害者福祉法施行10周年を記念しての第1号の発刊。</p>
1963年(昭和38年) 10月	<p>「第1回 宮城県身体障害者体育大会」開催</p> <p>平成12年度で事業終了。</p>
1964年(昭和39年) 2月	<p>「第1回 身体障害者製品展示即売会」開催</p> <p>身体障害者の職業能力と生産技術をPRし、県民の理解と障害者の更生援護を目的とした全国規模の展示即売会。</p> <p>昭和59年11月で事業終了。</p>
1965年(昭和40年) 11月	<p>「第1回 全国身体障害者スポーツ大会」に選手団派遣</p> <p>岐阜県で開催。20名派遣。</p>
1970年(昭和45年) 5月	<p>「身体障害者結婚相談事業」開始</p> <p>本部、支会に結婚相談所設置し結婚相談員を配置。結婚を希望する方の情報収集を行い、集団見合い・レクリエーション・座談会等の企画運営。</p> <p>平成5年度にて事業終了。</p>
1971年(昭和46年) 3月	<p>「身体障害者自動車操作訓練」開始</p> <p>改造自動車(県より無償貸与)を県内自動車学校に配置。当初4台で開始。</p> <p>平成25年度にて事業終了。</p>
1972年(昭和47年) 4月	<p>「音声機能障害者発声訓練事業」開始</p> <p>現在、宮城県喉頭摘出者福祉協会立声会にて事業継続</p>

1976年(昭和51年) 5月	「重度身体障害者授産施設 啓生園」(仙台市)開設 定員50名(開設当初は19人の入所者) 和裁科、編物科、マッサージ科、印刷科、部品科の5つの科でスタート。 現、「障害者支援施設 啓生園」 定員：生活介護50名・施設入所40名・短期入所3名
1977年(昭和52年) 8月	「宮城県心身障害者福祉センター(B型)」の管理運営受託(宮城県より)
1980年(昭和55年) 4月	「身体障害者通所授産施設 第二啓生園」(仙台市)開設 定員20名(昭和58年4月に定員40名) 現、「障害福祉サービス事業所 第二啓生園」 定員：就労継続支援B型40名
1981年(昭和56年) 4月	「要約筆記奉仕員養成事業」受託
1983年(昭和58年) 4月	「宮城県心身障害者福祉センター(A型)」の管理運営受託(宮城県より)
1985年(昭和60年) 9月	「国際障害者年宮城県身体障害者福祉推進大会」開催 宮城県身体障害者福祉大会の前身となる大会。この名称は、第7回(平成3年)まで続く。
1988年(昭和63年) 5月	「幸町ウェルフェア温水プール」オープン 県内唯一の身体障害者総合体育施設。
1989年(平成元年)	仙台支会が分離独立 仙台市の政令指定都市により、(財)仙台市身体障害者福祉協会として分離独立。
1991年(平成3年)	「宮城県障害者社会参加促進センター運営事業」を受託
2001年(平成13年) 4月	「身体障害者療護施設 杏友園」(塩竈市)開設 定員：入所52名、短期入所5名、通所10名 現、「障害者支援施設 杏友園」 定員：生活介護60名・施設入所50名・短期入所5名
2006年(平成18年) 4月	「宮城県障害者福祉センター」「宮城県障害者総合体育センター」の管理運営(指定管理施設)
2009年(平成21年)9月18日	「法人設立五十周年記念式典・祝賀会」開催 社会福祉法人となり五十周年を迎える。
2011年(平成23年) 4月	「身体障害者療護施設 不忘園」(白石市)開設 定員：入所60名 現、「障害者支援施設 ふぼう」 定員：生活介護60名・施設入所60名・短期入所5名
2014年(平成26年) 11月	指定特定相談支援事業所「オアシス」開設
2017年(平成29年)12月18日	「障害者支援施設 不忘園」(白石市)閉鎖(移転による)
2017年(平成29年)12月19日	「障害者支援施設 ふぼう」(村田町)開設(新築移転・施設名変更) 定員：生活介護60名・施設入所60名・短期入所5名
2019年(平成31年) 4月	「社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会」へ法人名称変更